

新型コロナウイルス感染対策窓口からのお知らせ第11信

2020年12月2日
新型コロナウイルス感染対策窓口

「何事も利己的な思いや虚栄からするのではなく、へりくだって、互いに人を自分よりすぐれた者と思いなさい。それぞれ、自分のことだけでなく、ほかの人のことも顧みなさい。」

(ピリピ人への手紙2章3～4節)

救い主イエス・キリストの御名を崇めます。

さて、これまで感染対策窓口としては、各教会が感染を免れるためにはどうしたらよいか、あるいは感染の恐れがある場合にはどのように対処したらよいかについて、できる限りの情報を提供してきました。しかし、状況は新たなステージに移りつつあるように感じています。それは、感染が拡大している地域において、医療体制が危機に瀕しているということです。

私たちは、自分たちの教会のために祈るだけでなく、こうした状況に対して心を向け、共に祈ることが、教会として果たすべき責任なのではないかという思いに迫られています。すでに、これまでも諸教会で祈られてきたこととは思いますが、改めて共に心を合わせて祈るために、以下の通り、祈りのリクエストをさせていただくことと致しました。

ぜひ、各教会において、様々な機会を用いて、心を合わせてこのことを祈りましょう。

また、それに対するレスポンスとして、各地域における医療の状況に関する情報や、あるいは教会関係者で医療や介護に従事している方について、(教会名や氏名は仮名で結構です)具体的な祈りの課題があれば、感染対策窓口宛てにお寄せください。取りまとめて、全国に祈りのリクエストとして発信させていただきます。

連絡先：kjysd19741215@ezweb.ne.jp

医療体制のための祈りの緊急リクエスト

- ① 新型コロナウイルス感染症の重症者の増加のために医療体制が逼迫している地域において、必要な医療供給体制が確保されるように。そのために十分な人的資源、公的資金が供給されるように。
- ② 感染者の医療に従事している方々が感染から守られ、また十分な休息が与えられて精神的・身体的ストレスが少しでも軽減され、また社会からの偏見・差別から守られるように。

以上